岐腎協は 2021 年 50 周年を迎えます

大橋会長より『こまめな体調管理を』 NPO 岐腎協

2020年6月NO.77

NPO 岐腎協

透析患者 尽きない不安



の透析患者の平均年齢は約 倍、気を付ける人が多い は手洗いの励行など人一 目立ち、もともと感染症に 病などを合併している例が 七十歳と高齢。さらに糖尿 物や水分を四、五時間かけ か多い」と大橋さん。 深はない。新型コロナでよ は、県内では透析患者の感 にのは二十人に上っている 十二人で、うち亡くなっ 泉が確認された透析患者は こ取り除く必要がある。 働かなくなった透析患者は 病院では 来院時の 体温測定 り慎重に対策をしている人 信が把握している 限りで (六月十九日現在)。「事 器を使って血液中の老廃 尿をつくる腎臓が十分に 日本透析医会などのまと 大橋さんによると、全国 常、週三回病院に通う。

県腎臓病協・大橋会長「こまめな体調管理を」

れるようになったという。 は、発熱などがある場合、 う人は少なくないという。 の発熱があっても透析に通 持に欠かせないため、少々 を過ごしている。生命の維 の患者と同じ室内で長時間 析を受ける際は、他の複数 い。患者が通院先で人工透 先でコロナの院内感染が発 見られるようになった。だ あるとされる。また、通院 療を受ける医療機関が多く 事前に連絡をして別室で治 が、新型コロナは症状がな とはいえ、不安は尽きな 大橋さんの話では、現在 人が感染を広げることも

の渇きを感じなかったりし 状態になる可能性がある。 り、マスクをしていてのど がある。我慢をしすぎた って飲む量を調整する必要 う。透析患者は水分摂取を 必要なのが、脱水症状とい 応も懸念材料だ。 ど、こまめな体調管理が求 け摂取したかを記録するな を自分で測り、何をどれだ 晩、体重や体温、血圧など て、気がつかないまま脱水 制限されており、季節によ 大橋さんは「毎日の朝 これからの季節で注意が

掛ける=岐阜市下奈良で 念入りな感染予防対策を呼び 手指の消毒をする大橋さん。 マスクで脱水症状恐れ

ためだ。県腎臓病協議会(岐阜市)会長で、 人工透析を受ける大橋広義さん(六四)は体調管理の徹

中日新聞 (2020年6月20日)

NPO 岐腎協 56 番目の患者会設立 2020年度4月

- •患者会名 ささゆり会 会員数 8人
- •施設病院 市立恵那病院
- ·患者会 会長 吉田 則男 様

・4月に設立総会を開催する予定でしたが、コロナウイルス感 染予防自粛の為中止となりました。岐腎協の仲間です、 よろしくお願いします。



る。免疫力が低下している人や高齢者が多く、感染 すれば重症化など大きな影響を受ける可能性がある らが、新型コロナウイルスに不安な日々を送ってい 腎臓の機能が低下し人工透析を受ける県内の患者 **複数人と長時間同室**

底などを呼び掛ける。

島原手延べそうめん 伝統の味わいを心ゆくまでお楽しみください。

『とっても簡単そうめんレシピ』 ㈱イトメン様より

梅ササミそうめん

材料そうめん/めんつゆ/梅/ササミ/酒/ゆかり/大葉

作り方

- ササミはフォークで数か所さしておく。 酒を適量かけラップをしてレンジで熱し、 粗熱が取れたらほぐしてつぶした梅とあ える。
- 2. そうめんを茹でたら、ゆかりとめんつゆを和え皿に盛る。
- 3. そうめんの上に"1"と千切りの大葉 を飾れば完成!





牛しぐれぶっかけ冷そうめん

【材料】4人分

- そうめん 5束・牛バラ肉 300g
- 玉ねぎ 1個・しょうが 1片
- ・ねぎ(小口切り)適量
- ・大根おろし適量・温泉卵 4個 (牛のしぐれ煮用)
- ·水 150ml
- めんつゆ(2倍希釈) 200ml
- •砂糖 大さじ3・酒 小さじ1
- ・みりん 大さじ1(冷やしかけめんつゆ)
- めんつゆ(2倍希釈)
- 白だし 50ml
- ·水 500ml

【作り方】

- 1. 玉ねぎをスライスし、しょうがを千切りにする。
- 2. 牛のしぐれ煮をつくるを作る。

鍋に(牛しぐれ煮用)の調味料を合わせいれ、その中に牛バラ肉、玉ねぎ、しょうがを入れて煮る。火 が通ったら冷まして、味を染み込ませる。

- 3. (冷やしかけつゆ用)の調味料を合わせ、冷やしておく。
- 4. そうめんを1分40秒茹で、流水で洗い、水気をきる。
- 5. 器にそうめんを盛り、"2"のしぐれ煮と、ねぎ、大根おろし、温泉卵をのせ、煮汁を適量かける

特定非営利活動 岐阜県腎臓病協議会

〒500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉農業会館 3 階 TEL 058-214-2497 FAX 058-214-2498 E-mail <u>npo@gijinkyo.jp</u>

作成者:事務局長 高田 裕二